

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用\_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	田中 光輝		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1405	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け(開発能力)	<p>■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係</p> <p>DP4-F (探究力・課題解決力) 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP3-G (状況把握力・判断力) 自らの置かれた状況、及び自分が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP4-I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP5-J (創造的挑戦力・達成力) コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクを取りながら、結果的に結びつけることができる。</p> <p>DP8-M (省察力) 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコンモノルーブリック(CR)との関連</p> <p>F1 探求と論拠(20%) G1 状況把握(40%) I1 理解・分析と読解(20%) J1 継続的学修基盤(10%) M1 総合的・応用的学修(10%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ~ 4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいく。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていくことを目的とします。授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業(オンデマンド型・ライブ配信型)を取り入れます。</p> <p>■キーワード 研究、省察</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 学生が研究を進める上で興味関心の高い分野を理解し、研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学び、研究を進める上での基礎知識、研究方法を明らかにしましょう。</p> <p>■授業の目的 学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識や方法について学習する。関心ある文献内容について、できるだけ多く目を通し、研究実践しようとする領域の知識を得ると同時に、卒業研究に向けて自身のスポーツ競技の特性を理解し、プレゼンテーション能力と技術を身につけることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 学生自身が研究を進める上で興味関心の高い分野を見つけ、研究に関わる内容や課題と問題について、基礎的な理解を深め、まとめた研究資料で実際にプレゼンテーション形式で発表を行い、研究発表会に必要な知識や方法について考察することになります。</p>		
総合到達目標	<p>■自身の専門とする競技の研究方法について、様々な技術及び分析方法や、問題点などの討議を通し、プレゼンテーションに必要な知識を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の専門とする競技の基本知識を説明できる。(第1回、第15回)</li> <li>・自身の競技に関する研究方法や分析について説明できる。(第2回~第4回)</li> <li>・自身の研究についての実験・観察・調査について説明できる。(第6回、第7回、第9回、第10回、第12回、第13回)</li> <li>・自身の研究のテーマについて討議できる。(第5回、第8回、第11回、第14回)</li> </ul>		
成績評価方法	<p>■研究発表会(60%)：適用ルーブリック F1・G1 (評価の観点) 研究発表会のプレゼンテーション資料と発表内容で評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。</p> <p>■授業リアクションペーパー(15回)(40%)：適用ルーブリック I1・J1・M1</p>		

	(評価の観点) 授業内で実施する授業ヒアリングシートで、授業の内容を明確に捉え自分の考えを示せるかで評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。	
履修条件	「ゼミナールⅠ SCS4605」(3年次前期配当)を履修している。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価方法について確認する。ゼミナールⅡの展開を概観する。自身の進める研究への関心を育てる(F1・G1・J1)。 ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認し、自分の考えを確認しておく。 ④復習(120分) ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の専門とする競技や興味のある研究について、自分の考えを説明できるようにしておく。
	2	①授業テーマ 資料収集について ① ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、取り組む研究のテーマに必要な資料を収集し、専門競技におけるコーチングやトレーニングの知識の意味を考え、講読・調査・報告議論などの基本知識を含め、自身の研究への関心を育てる(F1・G1・I1)。 担当教員の実務経験を踏まえて、学生が研究を進めるため必要な資料収集の準備等について講義します。 ③予習(120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、取り組む研究のテーマに必要な資料を収集し、自分の考えを確認しておく。 ④復習(120分) 研究に必要な知識について自分の考えを整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
	3	①授業テーマ 資料収集について ② ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、取り組む研究のテーマに必要な資料を収集し、分析と考察について自身の研究への関心を育てる(F1・G1・I1)。 ③予習(120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、取り組む研究のテーマに必要な資料を収集し、自分の考えを確認しておく。 ④復習(120分) 研究に必要な知識について自分の考えを整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
	4	①授業テーマ 実験方法について ① ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究のために必要な実験・観察・調査を完遂し、自身の研究への考察の範囲を広げる(G1・I1)。 ③予習(120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、自分の研究に必要な実験方法について整理し、自分の考えを確認しておく。 ④復習(120分) 研究に必要な実験・観察・調査について、自分の考えを整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
	5	①授業テーマ 実験方法について ② ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究のために必要な実験・観察・調査を完遂し、自身の研究への考察の範囲を広げる(G1・I1)。 ③予習(120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究のために必要なデータ及び資料について、自分の考えを確認しておく。 ④復習(120分) 研究に必要な実験・観察・調査について、自分の考えを説明できるようにしておく。
	6	①授業テーマ テーマとデータについて ① ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究のために必要なデータ及び資料を解析し、自身の研究について実験・観察・調査を考え、研究への関心を育てる(G1・I1)。 ③予習(120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究のために必要なデータ及び資料について、自分の考えを確認しておく。 ④復習(120分) 研究のために必要なデータ及び資料について、自分の考えを説明できるようにしておく。
7	①授業テーマ テーマとデータについて ② ②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究のために必要なデータ及び資料を解析し、自身の研究について実験・観察・調査を考え、研究への関心を育てる(G1・I1)。 ③予習(120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究成果について自分の意見を整理し、自分の考えを確認しておく。	

	<p>④復習 (120分) 研究のために必要なデータ及び資料について、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
8	<p>①授業テーマ 研究成果の討議 ①</p> <p>②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、自身と同様もしくは他競技の学生とで討議し、研究成果のために必要な知識を説明する。自身及び他者の内容をリアクションペーパーにまとめる (G1・I1・M1)。模範解答の説明を含め、研修成果について復習を行ないます。</p> <p>③予習 (120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、自分の研究成果について、自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究について討議した知識について、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
9	<p>①授業テーマ 研究成果の討議 ②</p> <p>②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、自身と同様もしくは他競技の学生とで討議し、研究成果のために必要な知識を説明する。自身及び他者の内容をリアクションペーパーにまとめる (G1・I1・M1)。模範解答の説明を含め、研修成果について復習を行ないます。</p> <p>③予習 (120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、自分の研究成果について、自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究について討議した知識について、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
10	<p>①授業テーマ 研究成果物作成と整理</p> <p>②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、資料を作成し研究発表の準備を進めることで、自身のプレゼンテーションの内容を整理する。プレゼンテーションに必要な技術や知識を含め、自身の研究について考える (G1・I1)。</p> <p>③予習 (120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究成果物資料作成に向け、自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 研究の成果物を整理して自分の考えをまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
11	<p>①授業テーマ 研究成果物作成における討論 ①</p> <p>②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、各自作成した研究成果物について討論し、自身のプレゼンテーションに関する資料について必要な知識を説明する。自身及び他者の内容をリアクションペーパーにまとめる (G1・I1・M1)。模範解答の説明を含め、研究成果物作成について復習を行ないます。</p> <p>③予習 (120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究成果物資料について、自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 作成した資料についてまとめと整理をして、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
12	<p>①授業テーマ 研究成果物作成における討論 ②</p> <p>②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、各自作成した研究成果物について討論し、自身のプレゼンテーションに関する資料について必要な知識を説明する。自身及び他者の内容をリアクションペーパーにまとめる (G1・I1・M1)。模範解答の説明を含め、研究成果物作成について復習を行ないます。</p> <p>③予習 (120分) 現在行っている、または経験してきた競技に関して、自身の研究成果物をまとめ整理し、自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 作成した資料についてまとめと整理をして、自分の考えを説明できるようにしておく。</p>
13	<p>①授業テーマ 研究発表会のリハーサル</p> <p>②授業概要 本番に近い条件でプレゼンテーションを行う。そのプレゼンテーションについて質疑応答を受けることで、自身の資料について説明する。研究を実践しようとする領域と知識について考える (F1・G1・J1)。</p> <p>③予習 (120分) 自身のプレゼンテーションについて、まとめて整理し、自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 発表を行った資料の見直しと気づいた点を改良し整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
14	<p>①授業テーマ 研究発表会に向けて</p> <p>②授業概要 リハーサルで気づいた点について、メンバーの意見を参考に修正をくわえることで知識を深めて、自身の研究内容について考える (F1・G1・J1)。</p> <p>③予習 (120分) 研究発表会に向け、あらかじめ想定される質問等をまとめ、自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習 (120分) 修正をくわえたプレゼンテーションの資料を整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
15	<p>①授業テーマ 研究発表会とまとめ</p> <p>②授業概要 現在行っている、または経験してきた競技に関して、研究した資料のプレゼンテーションを行う。これまで学習してきた研究法、自己及び他者のプレゼンテーションの内容を整理し、ゼミナールI・IIのまとめを行う (G1・I1・M1)。プレゼンテーション資料を提出する。模範解答の説明を含め、研究発表の復習を行ないます。</p>

	<p>③予習（120分） 研究発表会のプレゼンテーションの内容を整理し、次年度以降の卒業研究に向けて自分の考えを確認しておく。</p> <p>④復習（120分） 研究発表会で発表したプレゼンテーションについて、自身の考えを説明できるようにしておく。</p>
関連科目	「コーチング学原論 SCS1304」（1年次前期配当）、「コーチング学研究法演習 SCS2317」（2年次後期配当）、「ゼミナールⅠ SCS4605」（3年次前期配当）は、競技理論や研究方法を扱うものとして、本講と密接に関係します。
教科書	指定しません。
参考書・参考URL	授業時に案内します。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に告知します。</p> <p>■オフィスアワー 金曜日2時限（研究室）。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。</p>
研究比率	

